

講義名	フィールドワーク法			授業形態	
担当教員	西牟田 真希	開講期・曜日・時間	前期 木曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

この講義では、社会調査を行う際の必要な問いの立て方や調べ方を学び、そのための基本的な概念と方法を学ぶことを目的とする。フィールドワーク法では特に、フィールドワークの技法、参与観察法、聞き取り（インタビュー）調査、ドキュメント分析について、調査事例を中心に授業を進める。必要な知識と調査方法を習得したのち、実際に調査計画にそって調査を実施する。調査後に、調査結果を整理して分析・考察を行い、調査報告書を作成させることを目指す。

到達目標

質的調査の意義を理解して、フィールドワークの技法を習得する。
各自で調査を企画・立案して質的調査を体験したのち、調査報告書を執筆する。

提出課題

単元ごとに授業課題（平常レポート）を実施する。授業課題の各要素を最後にまとめなおして調査報告書（期末レポート）として提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

単元ごとの授業課題（平常レポート）は、実施前に方法やポイントを説明して、実施後に解説を行う。

評価の基準

授業の取り組み姿勢・授業課題（平常レポート）（40%）、期末レポート（60%）により、総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

本講義の前に社会調査に関する授業を受講していなくても問題は無いが、他の社会調査の科目をあわせて受講するのがぞましい。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

『ラウンド・アバウト フィールドワークという交差点』	神本秀爾・岡本圭史編	集広舎	2016	9784904213650
『ポピュラーカルチャーからはじめるフィールドワーク レポート・論文を書く人のために』	園田浩二・池田大臣編	明石書店	2970	9784750354644

その他

岸政良・石岡文昇・丸山真美編『質的社会調査の方法 他者の合理性の理解社会学』（有斐閣、2016）
箕浦康子編『フィールドワークの技法と実際 マイクロ・エスノグラフィ入門』（ミネルヴァ書房、1999）。

授業計画

- 第1回 本講義の概要と進め方
予習内容：シラバスを見たとうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）/復習内容：講義資料を見なおし、ノートやメモを整理して授業内容の理解を深めること（120分）
- 第2回 社会調査とは何か
予習内容：社会問題や異文化理解について、関心内容をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：講義資料を見なおし、ノートやメモを整理して授業内容の理解を深めること（150分）
- 第3回 質的調査の実際（1） 参与観察
予習内容：自文化・異文化の理解について、自分の体験した内容をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：講義資料を見なおし、ノートやメモを整理して授業内容の理解を深めること（150分）
- 第4回 質的調査の実際（2） 聞き取り調査
予習内容：自分の生活する場所でのようなフィールドワークができるかをまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：各自で実施するフィールドワークのテーマ設定の候補を考えること（150分）
- 第5回 質的調査の実際（3） ドキュメント分析
予習内容：自分の生活範囲で身の回りの出来事を観察して練習調査を行ったうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：各自で実施するフィールドワークのテーマ設定の候補を考えること（150分）
- 第6回 調査の立案・計画（1）
予習内容：授業内容を参考に練習調査の内容をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：フィールドワークの立案・調査の予約などの準備をすること（150分）
- 第7回 調査の立案・計画（2）
予習内容：授業内容を参考に練習調査の内容をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：フィールドワークの立案・調査の予約などの準備をすること（150分）
- 第8回 先行研究を読む（1）
予習内容：自身のテーマに関連する文献・資料を探して内容をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：講義資料を見なおし、ノートやメモを整理して授業内容の理解を深めること（150分）
- 第9回 先行研究を読む（2）
予習内容：自身のテーマに関連する文献・資料を探して内容をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：講義資料を見なおし、ノートやメモを整理して授業内容の理解を深めること（150分）
- 第10回 調査記録の方法と注意
予習内容：フィールドワークの立案・調査の予約状況などをまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：実施事項や注意点を確認すること（フィールドワーク調査の実施）も含む（150分）
- 第11回 質的データの整理と分析（1）
予習内容：調査結果をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：講義資料を見なおし、自身の調査のフィールドノートを書くこと（150分）
- 第12回 質的データの整理と分析（2）
予習内容：調査結果をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：講義資料を見なおし、自身の調査のフィールドノートを書くこと（150分）
- 第13回 調査報告レポートの作成（1）
予習内容：自身のフィールドノート内容からの知見をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：授業内容を参考にして、自身の調査結果をまとめること（150分）
- 第14回 調査報告レポートの作成（2）
予習内容：自身のフィールドノート内容からの知見を特徴をまとめたうえで講義に出席すること（90分）/復習内容：授業内容を参考にして、自身の調査結果をまとめること（150分）
- 第15回 講義全体のまとめ
予習内容：文献・資料とフィールドワークを比較する。（90分）/復習内容：自身のテーマに関連する文献・資料と自身のフィールドワークを比較して授業内容の理解を深めること（150分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	○ カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学が目指す「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」育成のうち、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の養成を目指すものである。
本講義は、現象や事象の問題点の発見、課題を設定する課題発見力（単元1）、条件・制約を考慮して、課題解決（フィールドワーク）の道筋や段取りを具体化する構想力（単元2）、適切な手段を用いて収集・調査、整理する情報収集力（単元3）、収集した情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する情報分析力（単元4）である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

使用しない

実務経験の有無及び活用

実務経験あり（民間企業の研究開発、NPO法人、博物館などの研究・業務補助、住民および家族に生活体験を聞き取る調査の実施、報告書作成など）。
これにもとづき、フィールドワーク調査過程の実態や注意点などについて授業で解説を行う。

備考

授業の進具合によって、前後のカリキュラムを流動的に変更する可能性がある。